

# 当初予算

**平成30年度 一般会計** についてご紹介します。

重点事業として、東日本大震災を契機に最優先課題として取り組んできた【被災者支援事業】、【原子力災害対策関連事業】、【防災関連事業】と、JR 鏡石駅を中心とした「駅に降りてみたい、歩いてみたい、住んでみたいまちづくり」を実現するための【進化する鏡石実行プロジェクト】に、現在、オープンに向けて着々と準備を進めている【鏡石まちの駅「かんかんてらす」関連事業】を新たに加えた5分野に取り組んで参ります。

また、平成24年度に策定し、昨年度から後期計画がスタートした、町の総合的・基本的な計画である「鏡石町第5次総合計画」その計画に基づく5つのまちづくり目標の実現に向け、各行政分野別の施策に取り組んで参ります。

## 平成30年度の主要な事業

### 重点事業

#### ◆被災者支援事業 500 万円

災害援護資金貸付事業

#### ◆原子力災害対策関連事業 6 億 7,056 万円

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業  
 原子力災害対策補完事業  
 ふくしま森林再生事業  
 食品等モニタリング事業 等



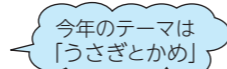
#### ◆防災関連事業 5,402 万円

(新) Jアラート新型受信機更新事業  
 (新) 第9分団小型ポンプ付積載車購入  
 防災行政無線屋外拡声子局更新事業



#### ◆進化する鏡石実行プロジェクト 2,641 万円

駅に降りてみたくなる事業 (今年テーマは「うさぎとかめ」)  
 (駅東口整備・田んぼアート)  
 通りを歩いてみたくなる事業 (グリーンロード整備等)  
 住んでみたくなる事業 (婚活支援事業)



#### ◆鏡石まちの駅「かんかんてらす」関連事業 1,996 万円

(新) 「かんかんてらす」運営事業  
 (新) 駅前広場改修事業 (駐車場整備)  
 (新) 地域づくり事業 (観光案内・農商工物産振興・町民ふれあい)

※関連記事を6ページに掲載しています。

### 第5次総合計画に基づく行政分野施策

※新規・拡充事業のみ掲載。

#### I 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！

・(拡充) 公共施設等維持管理事業 1,883 万円 ・(拡充) ふるさと鏡石ありがとう事業 648 万円

#### II 心豊かな人を育て、地域文化を大切に作る鏡石をつくります！

・(新) 中学生各種検定・中学校教育活動補助事業 113 万円  
 ・(拡充) 健康増進予防接種事業 (人間ドック事業含む) 6,994 万円

#### III 地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります！

・(拡充) 在宅高齢者福祉事業 (高齢者認知症対策事業等) 1,119 万円  
 ・(拡充) 保育施設運営補助事業 3 億 1,709 万円  
 ・(新) 空き家対策事業 200 万円  
 ・(拡充) 地域安全活動事業 (防犯灯 LED 化事業等) 1,453 万円  
 ・(拡充) 地域コミュニティ形成事業 (2 区集会所建設等) 5,447 万円

#### IV 新しい産業を开花させ、活力ある鏡石をつくります！

・(新) 農業振興地域整備計画総合見直し事業 540 万円  
 ・(新) 女性農業者活動組織育成事業 20 万円 ・(新) 有害鳥獣被害防止対策事業 10 万円

#### V 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！

・(新) 公園整備事業 250 万円  
 ・(拡充) 定住促進事業 (定住促進住宅設備改修等) 2,729 万円



笑顔あふれるまちづくりのために予算が使われます

**予算編成の方針**

除染や風評被害対策など、今もなお深刻な状況が続いている原子力災害関連の事業については、引き続き全力で取り組んで参ります。

震災復旧・復興事業が概ね完了し、減少傾向にあるとはいえ、依然として通常時を大きく上回る決算規模であることから、必要性等を検証した上で、限られた財源で最大の効果を発揮するように、重点的かつ効果的な予算配分を行いました。

国難とも呼ぶべき人口減少・少子高齢化に立ち向かうため、本町の特性を活かした「通勤に便利に住むにも快適、子育てしやすい環境を備えた定住の町」を将来像とし、町民一人ひとりが幸せを実感できる「笑顔あふれるまちづくり」の実現に向け、各種事業を着実に進めて参ります。



予算編成の方針を述べる遠藤町長

平成30年度各会計当初予算は、3月5日(月)から16日(金)まで開催された3月町議会定例会で可決され、成立しました。

一般会計当初予算は、61億9,300万円という、前年度比2億3,800万円、4%増の予算となりました。今月号では一般会計を中心に予算の中身をご紹介します。

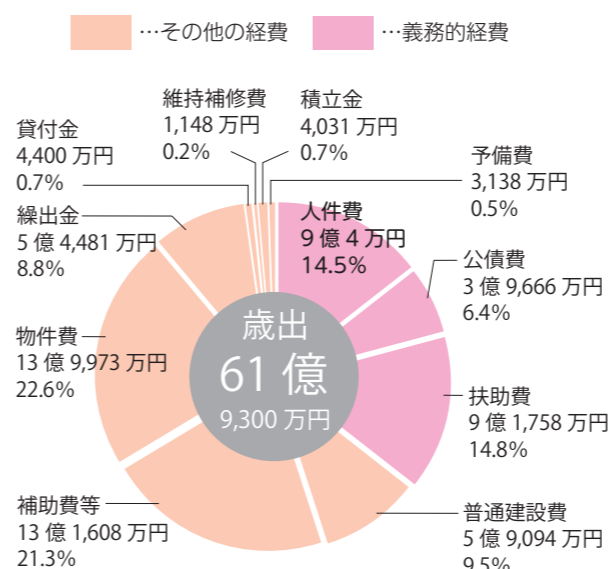
# 平成30年度 当初予算 の中身

### 歳出

…性質別に見ると、道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業等により物件費が対前年比4.4%、障がい者福祉や児童福祉などを含む扶助費が14.5%、特別会計への繰入金が5.1%の増となっています。

一方、借入に対する返済金にあたる公債費は、8.7%の減となり、年々減少傾向にあります。

主な事業として、鏡石まちの駅「かんかんてらす」運営補助や2区集会所建設、道路等の堆積物撤去・処理、認定こども園整備等の子育て支援事業を展開していきます。

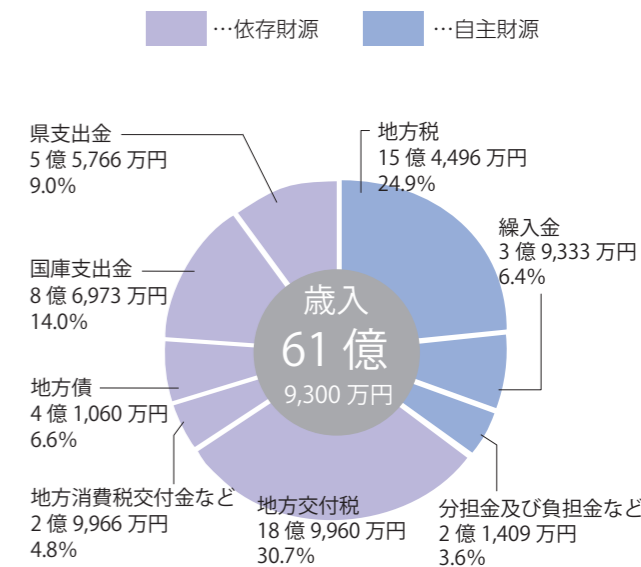


### 歳入

…全体の約25%を占める町税(地方税)は、震災前の状態まで回復していますが、地方の景気回復については足踏み状態であり、依然として厳しい経済状況となっています。

地方交付税は、道路等側溝堆積物撤去処理事業及び新ごみ処理施設建設負担金に係る震災特別交付税により、前年比7.9%の増となっています。

繰入金については基金から3億7,832万円を繰り入れ、町債(地方債)については2億3,970万円(臨時財政対策債を除く)を計上し、適正な起債枠を確保しながら、基金取り崩しなどにより財源を確保しています。



※用語の説明を4ページに掲載しています。